

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 6 号

校訓 「歴史を拓く」
学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

令和元年 9月27日 (金)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: <http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

『校訓 歴史を拓く』

校長 小林 広利

過日行われた体育祭では、ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様に温かなご声援をいただき本当にありがとうございました。生徒一人ひとりが各競技種目を一生懸命行い、力を出し切ってくれました。応援もすばらしかったと思います。校旗を高らかに掲げた生徒会長 鳥越怜雄くんを先頭にした圧巻の入場行進、体育委員長 渡辺峻太郎くんの立派な選手宣誓、第1種目のラジオ体操では、朝礼台上の豊田亮くんの集中した体操演技、全体の基準となる岡本大樹くんのさわやかな大きな返事、全員の心と動きがしっかりと重なりあい、この時点で体育祭の成功を感じさせてくれました。クラスで力を合わせる種目も多くあり、特にムカデ競技は、大きな声を掛け合って必死に足並みを揃え、クラスの仲間と励ましあいながら健闘する姿に感動しました。このように、日頃から素晴らしい取組ができるのが、大原中学校の子どもたちです。



【体育祭・ムカデ競技】

今年度の初めには、生徒会本部役員の皆さんと校長室で今後の大原中学校の姿について話し合いをもちました。生徒一人ひとりが自分らしさや自分のよさをそれぞれの場所で発揮できる学校、すべての人がそれらを認め・励まし合える学校、それぞれの個性が開花し咲き誇れる学校にしていきたいという願いを子どもたちの言葉から感じ取ることができました。話し合いの中で、本校の「6つの行動目標」の一つである「校歌を大切に心を込めてしっかり歌える生徒（校歌は、自分と仲間をつつむ心の入れ物である）」の話題となりました。子どもたちからは「令和という時代となり、今は一つの分岐点だと思う」という意見があり、校歌に謳われる「歴史を拓く」という言葉を「校訓」として定めることにいたしました。合わせて、学校教育目標を「はつらつとした学校、地域に輝く学校」から「はつらつとした生徒、地域に輝く学校」に一部変更いたしました。「校訓」と「学校教育目標」は、令和元年10月1日をもって制定します。「歴史を拓く」とは、それぞれがそれぞれの未来を切り拓くことにつながります。大原中学校教職員は、皆さん一人ひとりを真剣に指導・支援します。保護者・家族の方々、地域の方々など多くの人たちが皆さんを応援しています。保護者・地域の皆様におかれましては、子どもたち一人ひとりが夢と希望を抱き、自信と誇りがもてるように、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



大原中学校校歌

作詞 深見 金一
補作 佐佐木信綱
作曲 下総 暁一

一： 武蔵野の果てに遠く
高き富士の嶺つづく秩父嶺
明け暮れに仰ぎて学ぶ
見よここに新しき光は出でん
誇りにその名たたへん
大原中おお大原わが母校
歴史を拓くその光

二： なでしこの花とにほふ
若きいのちよ結ぶちからよ
誓ひあふわれらの瞳
いざともにとくまじき腕を
挙げて
高らかにその名うたはん
大原中おお大原わが母校
歴史を拓くこの腕

※ 令和元年9月に「さいたま市立大原中学校ホームページ」を一新いたしました。ご覧ください。